

米沢市デジタル田園都市構想総合戦略評価シート

【令和6年度評価】

米沢市デジタル田園都市構想総合戦略評価シート目次

- | | | |
|---|--|----|
| 1 | 基本目標1
地域産業に活力があり、市民が安定して働き続けることができる「しごと」を創出します | P1 |
| 2 | 基本目標2
市外からの流入や交流・つながりを通じて、米沢市に多くの「ひと」を呼び込みます | P3 |
| 3 | 基本目標3
若い世代が安心して結婚、出産、子育てができる環境をつくり、未来を担う「ひと」を育みます | P5 |
| 4 | 基本目標4
住み続けたいと思える、魅力的で持続可能な「まち」づくりを推進します | P7 |

米沢市デジタル田園都市構想総合戦略 評価シート【令和6年度評価】

I 基本目標1

※ 年度は「RO」、年は「RO年」と記載しています。

地域産業に活力があり、市民が安定して働き続けることができる「しごと」を創出します

重要目標達成指標KGI	基準値 (R2)	R6実績 (R3)	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
市町村内総生産	3,951億円	3,808億円				4,500億円	商工課

II 課題及び今後の方向性

課題	今後の方向性
その年に産出された付加価値の総額を示す市町村内総生産について、直近の公表値である令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大に端を発した景気後退の影響により前年度の額を下回っており、さらなる産業の活性化を目指し、効果的な事業者支援施策の実施が課題となる。	産業の高付加価値化と地域内経済循環の向上を目指し、市内事業者の多くを占める中小・小規模事業者に対しニーズに沿った支援を行うなど、本市全体の経済成長に寄与する事業を展開していく必要がある。

III 重要業績評価指標(KPI)、取組状況

1-1 先端技術産業をはじめとする本市の強みを活かした産業の集積

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
市内企業と山形大学工学部教員の共同研究数	21件/年 (R4)	20件/年				延べ100件 (R6-R9)	商工課
山形大学の研究成果等に基づく事業化数	延べ12件 (H30年6月～R4)	延べ12件				延べ40件 (R6-R9)	商工課
本市への新たな企業立地件数	-	0件				延べ4件	商工課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

有機エレクトロニクス産業集積推進事業(商工課)
 山形大学工学部及び同大有機エレクトロニクスイノベーションセンターと協力連携し、産業クラスター形成に向けて、産学連携による事業化の取組みを国内外の企業・団体等に広く発信した。さらに、先端技術及び研究シーズを基軸として、市内企業とのさらなる産学連携を推進し、企業の技術開発力の向上及び新産業の創出を図った。(委託料:8,360千円)
 有機エレクトロニクス関連分野展示会への出展(5回)、地域企業との技術連携支援活動(市内企業8件)、産学連携セミナー・シンポジウムの開催(7回)、有機エレクトロニクス関連施設オープンラボの開催(8回)、プレスリリース・メディア掲載等(7回)

1-2 中小企業の振興と産学官等各分野の連携による新規事業、創業の推進

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
TEAM NEXT YONEZAWAの登録数	215件(～R4年10月)	244件				295件	魅力推進課
付加価値額	1,383億円 (R3年)	1,425億円 (R4年)				1,650億円	商工課
創業支援等事業計画に基づく創業者数	32人/年 (R4)	42人/年				延べ96人 (R6-R9)	商工課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

米沢ブランド戦略事業(魅力推進課)
 米沢ブランドコンセプト「挑戦と創造」のコンセプトの元、米沢品質AWARD2024を実施し、新たに4件を米沢品質AWARDとして選出した。また、米沢品質向上運動に取組むTEAM NEXT YONEZAWA(TNY)については、登録強化月間を設けたことで、例年より多い24チーム増の合計244チームの企業・団体・個人から賛同を得ることができた。また、TNYを順次訪問・取材を行い、各チームの挑戦と創造の取組みをSNS等で広く発信することに努めた。
 ・TEAM NEXT YONEZAWA登録団体(令和7年3月31日現在):244チーム
 ・米沢品質AWARD2024:4件
 ・伴走型リブランディング支援対象団体:4チーム

1-3 職業として選択できる魅力ある農林業の実現

重要業績評価指標 KPI	基準値 (R4)	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
新規就農者数(林業従事者を含む)	19人/年	16人/年				延べ40人 (R6-R9)	農業振興課
農畜産物の産出額	69.9億円	81.3億円				72億円	農業振興課
かあちゃんの台所販売額	40,005 千円	48,452 千円				延べ 160,000 千円 (R6-R9)	農業振興課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

新規就農者支援事業(新規就農者育成総合対策事業)(農業振興課)
次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農準備段階や経営開始時の早期の経営確立を支援する資金(年間最大150万円、最長3年以内)や経営発展のための機械・施設等の導入を支援する資金(最大750万円)を交付するもの。
本事業の実施により、新たな農業者の参入が促進され、地域農業の活性化に寄与している。また、この支援制度は単なる資金交付にとどまらず、就農希望者に対して研修や相談窓口の提供も行っており、これによって、農業技術の向上や経営ノウハウの習得が促進されており、持続可能な農業経営の実現に繋がっている。

1-4 安定した雇用と働きやすい環境づくり

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
学生と地元企業のマッチングを目的としたセミナー・ガイダンス・イベント参加人数	1,973 人/年(R4)	1,553 人/年				延べ 8,000人 (R6-R9)	商工課
新規高等学校卒業求職者の県内事業所への就職率	75.1% (R4)	76.5%				79.8%	商工課
新規地元大学・短大卒業求職者の県内事業所への就職率	17.1% (R4)	18.1%				24.0%	商工課
米沢市シルバー人材センター登録会員数	371人 (R4)	395人				420人	高齢福祉課
民間企業の障がい者雇用率(ハローワーク管内)	2.16% (R4年)	2.18%				2.7%	商工課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

米沢市人材確保・定着促進事業(商工課)
地域産業活力の維持・向上を図るため、地域の高校生・短大生・大学生の地元企業理解や地元就職促進と定着、大都市圏に進学した地元出身学生や若年労働者の呼び戻しやUIJターン(移住)促進などの事業を実施した。
高校生・短大生・大学生等向け事業の他、コロナ禍で実施を見送っていたUIJターン促進事業や外国人労働者の受入れに関する情報提供等、各種事業を実施した。
・ セミナー・ガイダンス・イベント参加人数1,553人(うち生徒・学生1,116人)
・ UIJターンに関する相談件数33件

米沢市デジタル田園都市構想総合戦略 評価シート【令和6年度評価】

I 基本目標2

※ 年度は「R〇」、年は「R〇年」と記載しています。

市外からの流入や交流・つながりを通じて、米沢市に多くの「ひと」を呼び込みます

重要目標達成指標KGI	基準値 (R5年)	R6実績 (R6年)	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
社会増減 (転入者数－転出者数)	-684人	-561				0人	政策企画課

II 課題及び今後の方向性

課題	今後の方向性
令和6年は転入者1,942人に対して転出者2,503人と561人の転出超過となった。令和5年と比較して転入者が76人減少したが、転出者も199人減少したことから転出超過数は令和5年より123人減少した。新型コロナウイルス感染症の「5類」移行後の急激な転出超過の拡大は沈静化したものの減少傾向に変わりはなく、目標達成のための効果的な事業の実施が課題となる。	社会増減については、課題に記載のとおり依然として減少傾向が続いていることから、この流れを食い止め、目標達成に繋げられるよう、若者のUターン促進や郷土愛の醸成を図る事業等の実施とともに、関係人口や交流人口の創出等、流入促進と流出抑制を図る取組みについて、新総合計画に基づき力強く推進していく必要がある。

III 重要業績評価指標(KPI)、取組状況

2-1 移住・定住の促進

重要業績評価指標 KPI	基準値 (R4)	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
移住相談(イベント参加者含む)を介した移住者数	24名/年	29名/年				延べ100人 (R6-R9)	地域振興課
住宅リフォーム(移住型)件数	5件	2件				延べ15件 (R6-R9)	建築住宅課
学生と地元企業のマッチングを目的としたセミナー・ガイダンス・イベント参加人数【再掲】	1,973人/年	1,553人/年				延べ8,000人 (R6-R9)	商工課
奨学金返還支援制度利用者数	11名/年	22名/年				延べ80人 (R6-R9)	地域振興課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

やまがた就職促進奨学金返還支援事業(地域振興課)
山形県と連携し、奨学金を活用した大学生や、Uターンを希望する社会人が、実際に山形県内に就業し、5年以上本市に定住する場合に奨学金の返還を最大124万8千円まで支援することにより、若者の定住促進を図るもの。
令和6年度から、対象となる奨学金として、日本学生支援機構の第2種(これまでは、第1種のみ)を追加した結果、奨学金返還支援制度の利用者数が、令和5年度の2.2倍(利用者数:令和5年度10名、令和6年度22名)となった。
今後も、市内5校の進路説明会等で制度の説明やチラシ配布を行うなど、制度のPRに努めて、利用者数の増加を図る。

2-2 多彩な地域資源を活かした観光戦略の推進による交流人口の拡大

重要業績評価指標 KPI	基準値 (R4)	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
年間観光入込客数	3,166,304人	3,361,172人				3,800,000人	観光課
四季のまつりの入込客数	329,400人	285,000人				378,900人	観光課
アニメや漫画等、サブカルチャーを活用した事業実施による観光入込客数の増加数	0人	642人				6,000人	観光課

道の駅米沢への来場者数	1,650,145人	1,708,080人				1,897,600人	観光課
-------------	------------	------------	--	--	--	------------	-----

令和6年度 取組状況

【主な事業】

観光地域づくり法人(DMO)による観光戦略事業(米沢市版DMO推進事業)(観光課)
 令和5年度に引き続き、観光情報分析事業と国内外へのプロモーション事業を中心に観光振興に取り組み、特に台湾での誘客プロモーションを強化することでインバウンド観光客の獲得に注力した。また、360°よねざわオープンファクトリーなどの産業観光の推進やアニメツーリズム事業によるプロモーションを行い、本市への誘客を図った。
 観光情報分析事業では、システムやBIツールを活用した観光データの収集、分析を進め、データに基づいた戦略的なマーケティングを推進することができた。また、域内の各SNSから米沢観光ナビ公式HPへの誘導設計を行ったことで、HPの閲覧回数が令和5年の6.5万回に対し、令和6年は32万回となり大幅に閲覧回数が増加した。

2-3 米沢市の魅力発信による関係人口の創出拡大

重要業績評価指標 KPI	基準値 (R4)	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
ふるさと応援寄附金額	1,692,995千円	1,495,371千円				4,000,000千円	商工課
合宿誘致参加者数	241人	144人				延べ 4,400人 (R6-R9)	スポーツ課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

ふるさと応援寄附金制度推進事業(商工課)
 全国に本市の魅力や取り組みを発信することで、応援したい自治体として選んでいただき、ふるさと納税(寄附)につなげていくほか、併せて、地場産品を返礼品とすることで、地域と寄附者とのつながりを築くとともに、地域経済の活力に結び付けて行こうとするもの。
 基準値の22%減で、基準値を下回る結果となったが、同水準の経済効果を市内に反映できた。市ホームページ掲載、PR用パンフレット作成、ふるさと納税のインターネットサイトへ掲載の他、市が開催するイベントや観光施設等での周知チラシの配布の強化、ふるさと納税専用LINEアカウントを開設し、シティプロモーションと併せて返礼品紹介を定期的に発信することで本市の認知拡大ができた。

米沢市デジタル田園都市構想総合戦略 評価シート【令和6年度評価】

I 基本目標3

※ 年度は「RO」、年は「RO年」と記載しています。

若い世代が安心して結婚、出産、子育てができる環境をつくり、未来を担う「ひと」を育みます

重要目標達成指標KGI	基準値 (R4年)	R6実績 (R5年)	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
合計特殊出生率	1.24	1.14				1.5	政策企画課

II 課題及び今後の方向性

課題	今後の方向性
令和5年の合計特殊出生率は、令和4年の1.24を下回り、1.14となった。また、置賜地域の1.13を僅かに上回ったものの、山形県の1.32を下回っている。合計特殊出生率の数値は、減少が続いており、これを食い止める効果的な施策の実施が課題となる。	合計特殊出生率については、今後も少子化の傾向が一層強まることが予想されることから、目標達成に向けて大変厳しい状況が続くと考えられるが、市民が安心して、子どもを生み育てることのできる環境づくりを粘り強く推進していく必要がある。

III 重要業績評価指標(KPI)、取組状況

3-1 結婚・妊娠・出産・子育てに切れ目のない支援

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
婚活イベントの実施回数	1回/年 (R4)	2回/年				延べ8回 (R6-R9)	地域振興課
乳児家庭全戸訪問事業	訪問率 100% (R4)	訪問率 100%				訪問率 100%	こども家庭課
各年10月1日の待機児童数	1人 (R5)	0人				0人	子育て支援課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

出産・子育て応援事業(こども家庭課)
 妊娠から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援の充実を図った。妊娠届出時面談:335件、出産後の面談:347件、妊娠期のアンケート数:340件、妊娠中の面談:54件、サポートガイド手交による情報提供も全員に実施した。
 また、妊娠の届出を行った妊婦・子育て世帯に対し、出産・子育て応援ギフト(出産・子育て応援給付金)を伴走型相談事業と併せて実施することで、安心して出産・子育てできるよう環境整備を図った。出産応援ギフト:335件、子育て応援ギフト:341件の給付を行った。
 妊娠から出産・子育てまで、切れ目のない支援体制の整備を進め、対象者全員へのアプローチを図ることができ、心配事を相談しやすい体制づくりを進めることができた。

3-2 仕事と家庭、子育て、地域活動等を両立できるワーク・ライフ・バランスの実現

重要業績評価指標 KPI	基準値 (R4)	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
審議会・委員会等の女性登用率	28.9%	33.2%				40%	地域振興課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

男女共同参画推進事業(地域振興課)
 第2次米沢市男女共同参画基本計画に基づき、市民や関係団体と協働しながら、男女共同参画意識の啓発を行うとともに、男女共同参画社会の実現に向けて、誰もが自分らしく個性と能力を発揮できる職場環境や、地域、まちづくりを目指すもの。
 性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消、DV防止等をテーマにしたパネル展の実施、男女共同参画講座への参加促進により、市民の男女共同参画意識を高めるとともに、令和6年1月から開始された山形県パートナーシップ宣誓制度に本市としても対応を行い、多様な性のあり方への理解促進に努めた。

3-3 将来を担う若者たちへの教育の充実と郷土愛の醸成

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
授業にICTを活用して指導することができる教員の割合(学校における教育の情報化の実態等に関する調査)	88.4% (R4)	84.91%				95.0%	学校教育課
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う子どもの割合(全国学力学習状況調査)	小学校 79.5% 中学校 66.6% (R5)	小学校 85.8% 中学校 81.4%				小学校 82.0% 中学校 70.0%	学校教育課
令和6年度 取組状況							
【主な事業】 中学生の地元企業就業体験事業(米沢チャレンジウィーク事業)(学校教育課) 市内215か所の事業所・施設等に、ご協力をいただき、市内の中学生655名が、令和6年9月2日～5日の4日間職場体験を行った。 生徒に対して行った事前と事後のアンケート調査の結果を比べると、仕事へのやりがいや誇りへの理解について、変容が見られた。保護者も、将来の視野を広げる学習と捉える意識を持っており、生徒の成長を感じ取ることができている。また、事業所からも、「業種について、生徒たちに知ってもらいたい良い機会となった。」という感想が多く寄せられた。							

米沢市デジタル田園都市構想総合戦略 評価シート【令和6年度評価】

I 基本目標4

※ 年度は「R〇」、年は「R〇年」と記載しています。

住み続けたいと思える、魅力的で持続可能な「まち」づくりを推進します

重要目標達成指標KGI	基準値 (R5)	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
将来も住み続けたいと思える市民の割合	40.4%	73.4% (※)				50.0%	政策企画課

※参考値:新総合計画アンケート結果より

II 課題及び今後の方向性

課題	今後の方向性
将来も住み続けたいと思える市民の割合を増やすために、市民生活や産業活動等を行うための利便性や快適さを維持し、豊かさや安心を実感できるようなまちづくりに努めていくことが課題となる。	→ 将来も住み続けたいと思える市民の割合を増やしていくためには、市民生活や産業活動等を行うための利便性や快適さを維持し、豊かさや安心を実感できるようなまちにしていくことが大切である。このために、生活環境や社会基盤の整備された、魅力的で持続可能なまちづくりを推進していく必要がある。

III 重要業績評価指標(KPI)、取組状況

4-1 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの推進

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
市街地中心部の文化施設利用者数	365,458人(R4)	417,212人				延べ170万人(R6-R9)	都市計画課
創業支援等事業計画に基づく空き店舗利活用者数	2人/年(R3)	3人/年				延べ8人(R6-R9)	商工課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

乗合タクシー運行事業(地域振興課)

令和6年4月から南原地区、綱木地区及び築沢地区で、令和7年1月から上郷地区で乗合タクシーの運行を開始した。郊外部から市街地へのアクセス手段を確保することで、住民の移動の機会を確保した。

4-2 既存ストックの利活用、社会基盤の維持・整備

重要業績評価指標 KPI	基準値 (R4)	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
空き家・空き地利活用支援事業補助金実施件数	28件	15件				60件	建築住宅課
住宅リフォーム支援事業費補助件数	230件	187件				延べ800件(R6-R9)	建築住宅課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

空き家マッチング事業(建築住宅課)

空き家の利活用希望者から希望条件を聞き取り、本市が所有している空き家のデータベースから希望条件に合致する物件を検索し、該当する空き家の所有者と利活用希望者をマッチングさせる制度。

- ・ 利活用希望者:15件(市内9件、市外3件、県外3件)
- ・ マッチング状況:物件検索中4件、物件情報提供中6件、空き家バンク物件紹介1件、交渉中3件、利用登録1件

4-3 健康に暮らせるまちづくり

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
特定健診受診率	47.9% (R3)	未確定 (※)				60.0%以上	健康課
住民主体の通いの場参加者数	491人(R4)	590人				840人	高齢福祉課

令和6年度 取組状況	※R6法定報告値：R7年秋に確定
【主な事業】 特定健診・各種がん検診の実施（健康課） 高齢者の医療の確保に関する法律に基づきメタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健診を実施するとともに、未受診者対策として、個人通知やSMS通知、電話勧奨等複数の手段で受診勧奨を行った。 また、健康増進法に基づき、胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・呼吸器（肺がん検診・結核健診）検診を実施し、機会を捉えた受診勧奨と共に、子宮頸がん検診（21歳）・乳がん検診（41歳）の無料クーポンの配布により、未利用者への受診勧奨や若年者（24・26・28・30歳）への個別通知を行った。さらに、各がん検診受診の結果、要精密検査となった者で未精検者に対しては受診勧奨を実施した。 令和5年度の特定健診受診率は、49.3%（法定報告値）であり、目標値の60.0%には届いていないが、未受診者対策により、過去2番目に高い受診率となっている（令和元年度50.0%）。令和6年度受診者数は5,359人で、対前年度比101%と増加している。令和6年度がん検診の受診者数の対前年度比は、胃がん検診100.3%、呼吸器（肺がん検診・結核健診）検診104.2%、大腸がん検診106.9%と増加したが、子宮頸がん検診は96.6%、乳がん検診は95.0%となり減少した。引き続き、受診勧奨に努めたい。	

4-4 自然災害に備えるまちづくり

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
冬期間に不安を感じる高齢者の割合(雪対策に関するアンケート)	22.7% (R4)	— (※)				20%	高齢福祉課
除排雪協力会の組織数	508団体 (R4)	531団体				538団体	土木課
アンケートで雪対策全般について満足に感じている人の割合	23.0% (R1)	19.5% (R6)				50%	地域振興課
自主防災組織の組織率	72.6% (R5)	74.8%				90.0%	防災危機管理課
消防団員の充足率	85.8% (R5)	84.9%				100%	防災危機管理課

令和6年度 取組状況	※次回、令和8年度実施予定
【主な事業】 道路除排雪事業（土木課） 地域との協力により除排雪協力会を組織し、第1種指定路線以外において、排雪等の作業を行った団体に、市がその費用の一部を助成することで、排雪作業を推進し、冬期間の安全安心な通行の確保に努めるもの。 令和5年度より除排雪協力会の負担軽減を図ったことで、除排雪協力会の組織数が予測より増加した。 ・ 組織数の推移 令和4年度：508団体 令和5年度：521団体 令和6年度：531団体	

4-5 環境にやさしいまちづくり

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
再生可能エネルギー設備導入量	42.6MW (R4)	45.3MW (R4)				47.9MW	環境課
太陽光発電設備導入住宅戸数	997戸 (R4)	1070戸 (R4)				1,062戸	環境課
CO ₂ 排出量	747 千t-CO ₂ (R1)	670 千t-CO ₂ (R3)				586.2 千t-CO ₂	環境課

令和6年度 取組状況	
【主な事業】 脱炭素社会実現に向けた事業（脱炭素先行地域づくり事業）（環境課） 脱炭素先行地域づくり事業において、米沢市・飯豊町の共同提案による「米沢牛のサプライチェーン全体の脱炭素化」を目指し、本市における先行地域として、上郷、窪田、万世、山上の4地区をモデル地区に設定し、再生可能エネルギー導入に係るアンケートを実施するほか、ゼロカーボンシティ推進シンポジウムの開催により普及啓発を図るもの。 ・ 第6回脱炭素先行地域の公募に対し、米沢市・飯豊町の共同提案による申請を行い、令和7年5月に選定された。 ・ 本市における先行地域の全世帯に対し再生可能エネルギー導入に係るアンケートを実施し、意向等を確認するとともに、窪田地区において、「ゼロカーボンシティ推進シンポジウムin米沢」を開催し、市民等の参加者に対し脱炭素に関する普及啓発を図った。	

4-6 広域と連携した共生のまちづくり

重要業績評価指標 KPI	基準値 (R4)	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
置賜地域移住交流推進協議会と連携した移住希望者に対するセミナー開催数	1回	0回				基準値以上	地域振興課
道の駅米沢への来場者数【再掲】	1,650,145人	1,708,080人				1,897,600人	観光課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

置賜地域3市5町での広域連携(置賜定住自立圏による各種事業)(政策企画課)
道の駅米沢総合観光案内所において、置賜各地の情報発信、まちナビカード等の地域内周遊企画を実施したほか、GX推進及びDX推進の取組みについて、先進事例も交えた研修を行った。
これらの取組みにより広域観光の推進が図られたほか、GX推進やDX推進に対する知見が深められた。また、環境分野でのワーキンググループの開催による情報交換、自治体向けビジネスチャットの広域利用に向けて試験運転を開始したことで、各市町の企画部門の連絡手段の構築が進んだ。

4-7 行政DXの推進

重要業績評価指標 KPI	基準値	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績	目標値 (R9)	担当課名
電子入札件数	0件 (R4)	0件				80件	契約検査課
市民公開GISに搭載したデータ数	5件 (R5)	17件				20件	魅力推進課

令和6年度 取組状況

【主な事業】

市民公開GISの整備事業(魅力推進課)
システムを利用した公開が効果的であると思われる情報を米沢市公式HPなどで募集した。回答のあった情報の掲載を検討するとともに、来庁による照会(閲覧)が多い情報を市民公開GISに新たに掲載した。
小中学校区や上水道情報等の計11件の情報を新たに市民公開GISに掲載した。また、掲載中の情報の更新や機能改善のための設定変更を行った。